

令和3年度

# 学校評価



長野県野沢南高等学校全日制

## 2021年度 学校目標

### 学校教育目標

1. 民主社会における正しい判断力と道義心を養う。
2. 教養を高め心身を鍛えて個性を伸ばす。
3. 適切な職業観を培う。

### 学校重点目標（中・長期的目標）

1. 生活習慣を確立し、自主的・自律的に行動できる生徒を育む。
2. 学習・クラブ・生徒会活動を通じ、自己の発見や開発のできる生徒を育む。
3. 個々に適したキャリア教育を推進し、意欲的に学習に取り組む生徒を育む。
4. 命と人権を尊び、豊かな人間性を育む。
5. 地域から信頼される開かれた学校づくりに努める。

### 今年度の重点目標

- (1) 生徒の学習環境の改善に努めるとともに、日々の清掃活動等を通して生徒自らも環境整備に取り組む意識を育てる。
- (2) HPの定期的な更新や「野沢南だより」等の発行を通じて、地域への広報活動を充実させる。
- (3) 生徒の学習意欲を刺激し、主体的に取り組めるようにICTを効果的に活用する授業研究・改善を進め、学力向上をはかる。
- (4) 人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学校づくりを進める。

# 学校組織図

【領域および係】



【内部評価用】

NO 1

## 令和 3 年 度 【 1 学 年 】 評 価 個 票

今年度の重点目標			領域の評価(成果と課題)		総合評価	
① 時間と期限を守ることができる生徒。 ② 率先して挨拶ができる生徒。 ③ スマホの適切利用ができる生徒。 ④ 礼儀正しくルールや規範を守る意識の高い生徒を目指す。			(ア) 守ることのできない生徒はいるが、ほとんどの生徒はできていた。 (イ) できていた。 (ウ) 授業で使う機会が多く、扱う回数は例年に比べ多いが、若干トラブルがあり十分適切であったとはいえない。 (エ) 全体的にはできている。		B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	「時間と期限を守る」	5分前行動、提出物の期限を守ることができたか。	ほとんどの生徒はできているが、一部生徒は遅刻常習であったり、提出できない生徒もいた。		○	
2	「率先して挨拶」	日常生活で挨拶が率先してできたか。	ほぼできていた。	○		
3	「スマホの適切使用」	節度を持ったスマートフォンの使用ができるか。発言、発信に責任をもてるか、注意喚起できたか。	授業で使う機会が多く必需品ではあるが、スマホ依存の生徒がほとんどの印象で、1学期には情報発信で不適切使用で指導もあり課題が残った。		○	
4	「安全で平和な秩序ある学校」	違う価値観を受容し、いじめやヘイトのない環境を作ることができたか。	個人の価値観を尊重することはほぼできた。他人を傷つける言動や SNS への投稿は若干あったのが残念であった。		○	
5	「ルールや規範を守る意識」	お互いを尊重する意識を日常生活で当たり前に取り続けられたか。礼儀正しい態度で生活できたか。	ほぼできていた。	○		

【内部評価用】

## 令和 3 年 度 【 2 学 年 】 評 価 個 票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
⑤ 基本的な生活習慣と学習習慣の維持、更に向上させ、時間で行動できる責任感ある生徒。 ⑥ 基礎的、基本的な知識の習得と基礎学力を基に、発展的、応用的な学習を進められるように努める。 ⑦ 何事にも前向きに挑む姿勢と自己肯定感、仲間と協力し主体的に粘り強く活動する姿勢を伸ばし、学習活動、清掃活動、委員会活動を活性化させる。 ⑧ 自己や社会の理解に努め、自分が将来どのように社会に貢献できるかを考える姿勢を育み、職業研究を更に進める。		本年度、遅刻者については、同じ生徒が常習的に遅刻している傾向があり、これは例年でも見られた。家庭での指導協力も必要であろう。学習習慣が付くように、教科ごと教科書に沿った教材プリントを配布し、家庭での取り組みがやりやすくなる工夫を常にしている。問題集も精選している。 長期休み明けには、課題提出を求め、そのチェックを通して生徒の学習内容の点検に努めた。全員が提出するのが理想だが、出さない生徒も見られ、真剣に取り組む意義を理解させたい。			B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	「基本的な生活習慣と学習習慣の確立」	日々の予習、授業、復習を通して学力の定着を図り、校外での評価試験で常に前回より良い評価を得るよう努力させることができたか。	2学年の中だるみ傾向は少ないと感じるが、学習時間調査の結果を見るとあまりよくない印象がある。評価試験の結果を生かした指導展開を更に心掛けたい。		○	
2	「発展的、応用的な学習」	既習単元を中心に、模試や入試問題等に取り組みせる事が出来たか。	受験日が公式試合と重なることが多く、全ての生徒に同一基準で取り組みせる事が困難な年であった。		○	
3	「前向きに挑む姿勢と自己肯定感」	課題の評価、SHR, 日常の学校生活の中で、積極的に生徒に声かけ等の働きかけが出来たか。	振り返り課題を LHR で取り任せ、自ら学校生活を客観視する機会を持たせることが出来た。	○		
4	「様々な活動への積極的な参加」	コロナ禍をにらみ、大学見学、ボランティア、1日看護体験など、様々なことに出来る限り関心を持たせ、参加を促すことができたか。	残念ながら、大学見学、看護体験等の進路学習は全て中止せざるを得ない状況は変わらず、個人的にオープンキャンパスに参加した生徒が若干名いた程度であった。			○
5	「スマートフォンの正しい利用」	節度を持ったスマートフォンの使用ができるか。発言、発信に責任をもてるか、注意喚起できたか。	スマホでスケジュール確認したり、アンケートを取ったりする機会が増加し、ほぼ使いこなせていたが、ゲームで遊ぶ生徒も増加傾向で、対策が必要かと考えている。		○	
6	「より良い高校生活の確立」	スマホのアプリの活用も含め計画、実行、振り返りをさせ、より良い高校生活の確立を目指させることができたか。	スタディサプリを利用し、5教科全て講座の整っているアプリで、長時間学習に取り組む生徒が多々見られ、好ましい。一方、殆ど利用しない生徒もいるが、スマホの家庭での接続環境問題があり、悩ましい部分がある。	○		

【内部評価用】

## 令和 3 年 度 【 3 学 年 】 評 価 個 票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)		総合評価		
① 日々の清掃活動等を通して生徒自らも環境整備に取り組むとともに、公共の精神を育てる。 ② 総合の探究で学んだことを通し、自己の将来像を描かせることによって生徒の学習意欲を刺激し、目標を達成するための学力を主体的に身に付けさせる。 ③ コロナ禍のような状況でも、限られた条件でどのような工夫ができるかを考え、行事を企画運営することによって、社会性を身に付けさせる。 ④ 常に相手を思いやれる精神を育てる。		①校舎内に限らず、生徒会の生徒を中心に地域清掃なども積極的に行った  ②総合的な探求の時間で探究したことを、さらに進学後も研究することを望む生徒や、探究したことを活かして進学する生徒がみられるようになった。 ③文化祭、クラスマッチなど例年の形では行うことができず、前年からの引継ぎがない中、自分たちで新たに計画、立案、実行していくことが出来た。 ④いじめ等の報告もなく、学年全体で進路目標に向かって活動することができた。		A		
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	「清掃活動の徹底」	清掃活動を通して、自ら学習環境を整えるとともに、社会の一員としての役割を果たすことの意味を考えさせることが出来たか。	校舎内に限らず、校外清掃にも積極的に参加できた。	○		
2	「進路志望に向けた学力の定着」	自分の将来を意識させ、その実現に向けて何をしたらよいかを考えさせ、主体的に学習に取り組む姿勢を育てることができたか。	部活動引退後、自分の進路に向けて積極的に学習している。学校に残って学習するものや、市立の学習室などを利用するものなど、工夫がみられる。	○		
3	「学校行事への前向きな取り組み」	制約が予想される文化祭等の行事において、学校全体のために、最高学年として最善の企画運営させることができたか。	コロナウイルスの影響で、行事が縮小、変更され、前例のない形での開催となったが、その都度臨機応変に対応し、3年生としての自覚をもって行動できた。	○		
4	「スマートフォンの適切な使用」	様々なアプリケーションを適切に活用するとともに、SNS への不用意な書き込みや同調が人を傷つけることを学ばせることができたか。	特に問題の報告もなく、適切に使用しているものと思われる。使用時間については、さらにけじめをつけることが望まれる。		○	

## 【内部評価用】

## 令和3年度【学校運営】領域（教務係）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)		総合評価		
① 生徒の学習環境の改善に努めるとともに、危機管理を行い、想定されるさまざまな災害・事故・事件に備える。 ② 行事や会議等の企画・運営に関し、校内の各部署と綿密な連携をとり、より効率的で円滑な学校運営を図る。 ③ 公式ホームページの定期的な更新や「野沢南だより」等の発行を通じ広報活動をより充実させ、開かれた学校づくりを進める。		コロナ禍において、より効率的で効果的な学校運営を目指し、オンラインによる授業や職員会議の開催などの取り組みを進めることができた。 変化する状況に合わせ、行事や日課を見直したり、中止したりしながら取り組むことで、教育活動の継続を図ることができた。 今後もコンピュータ機器等の活用をさらに進めることで、各種会議や行事の効率化を目指した取り組みを継続していきたい。		A		
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	危機管理 防災訓練の運営	危機管理を進め、災害、事故、事件に対する備えができたか。	コロナ禍において、ICTを活用して生徒の教育活動や学習活動の保障、また職員会議の開催をし、危機管理を進めた。 避難訓練に関しては、9月28日に消防署から講師を招き実施したが、感染予防対策の観点から密になるのを避け、各教室で放送により行った。	○		
2	時間割、行事計画、日課等の検討、運用	立案、運用を適切に行い、生徒の学習環境の改善につなげることができたか。	変化する状況に合わせ、立案、運用を行い、生徒の学習環境の維持に努めた。ただ、日課時間等で偏りも起こった。行事では中止したのもあったが、生徒会行事など縮小しつつ全校の協力のもとで行うことができた。	○		
3	職員会議、成績会議、朝会の企画・運営	会議を適切に企画、運営できたか。	職員会議ではペーパーレス化を進め、成績会議では資料作成の調整を行って効率化を図った。朝会が必要に応じて行った。今後も内容の見直しや効率化を図る取り組みを継続して行っていきたい。	○		
4	入学式、卒業式、始業式、終業式の運営	関係部署と協力し、効率的で円滑な運営ができたか。	コロナ禍において、感染予防対策に十分配慮しつつ可能な範囲で年度当初計画された行事を実施することができた。始業式、終業式等では、密になるのを避け、各教室で放送により行った。	○		
5	体験入学、公開授業の企画運営	PR活動・渉外活動を含め、企画、運営を適切に行うことができたか。	参加人数は411名であった。学校の説明や生徒会の全体会はリモートで実施し、人数を分散して体験授業を行った。実施後のアンケートにおいて、参加したほとんどの中学生から「学校の雰囲気分かった」「全体会がとても良かった」「文化祭が楽しそうだった」等の回答を得ることができた。		○	
6	公式ホームページの運用	更新を適切に行うことができたか。より閲覧しやすいページを目指し改良を重ねることができたか。	WEB版の「野沢南だより」を発行し、従来の紙版の「野沢南だより」とともに、学校行事や生徒の活躍の様子を写真付きの記事にまとめ、タイムリーに発信することができた。 今後も継続して情報発信の充実に向け、改良していきたい。		○	
7	「野沢南だより」の発行	内容において充実を図る等の工夫を重ねることができたか。また、発行を通じて広報活動をさらに充実させることができたか。	今年度は4号まで既に発行することができた。 (今年度中さらに3号発行する予定) 本校での日々の教育活動や生徒の様子が伝わるように内容の充実を図った。近隣地区での回覧に加え、各中学校に配布し、教室等に掲示することで、効果的な広報活動に繋げていきたい。	○		
8	校内ネットワーク環境の維持管理	維持管理を適切に行うことができたか。トラブルに対して迅速・的確に対応できたか。	定期的な保守を行い、安全性を高め、適切なネットワーク環境を維持することが出来た。 今年度は校務支援システムが導入され、年度初めより運用開始が出来たが、今後それに伴う情報環境の整備や情報資産の運用等について、校内Wi-Fi等も含め統一的に検討する必要がある。		○	

## 【内部評価用】

## NO 5

## 令和3年度【進路学習指導】領域(図書・視聴覚係)評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 朝読書の充実を図る。 ② 図書委員会活動の活性化する。 ③ 明るく利用しやすい図書館にする。 ④ 芸術鑑賞の企画・運営を、校内の各部署と連携と取りながら実施する。 ⑤ 視聴覚機材を各部署が充実して使用できるよう、維持管理をする。		○図書委員は学級文庫の入れ替え作業で、クラスメイトに多くの本の提供に努め、今年度も朝読書を実施することが出来た。 ○季節に応じた企画を行い、図書館利用を促すよう努めた。役員が率先して活動を行う姿が見られた。 ○芸術鑑賞は、実施できなかった。			A	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	朝読書及び読書指導	生徒が朝読書を通じ、書物に興味を持ち楽しく読む姿勢をつくり得たか。	○各クラスに朝読書用の貸出図書を用意した。	○		
2	委員会活動	当番活動を始めとして、広報活動・選書活動・調査活動等に積極的に取り組めたか。特に貸出し冊数の増冊ができたか。	○読書週間や季節の企画等を行った。正副委員長を中心に、例年を参考にしながら生徒が主体的に企画を実施することができた。 ○朝読書や企画によって貸出冊数が若干増えてきている。	○		
3	教科との連携	各教科との連携をスムーズに行い、資料等の情報を提供することができたか。	○総合的な探求の時間などにおいて図書館や蔵書の利用が見られた。	○		
4	蔵書管理システムの活用	図書館活動に十分に活用できたか。 蔵書をきちんと管理できたか。	○支障なく利用し、蔵書を管理している。	○		
5	レファレンスサービス	利用者からのレファレンスに対し、他館との連携などにより、資料の提供ができたか。	○蔵書や購入等で対応ができています。		○	
6	視聴覚・情報機器の管理	機器の管理・保全ができたか。	○貸借希望に応じて貸出ができた。	○		
7	芸術鑑賞の運営	生徒の関心と芸術的感性を高める企画であったか。	○今年度は新型コロナウイルス感染症のため、来年度に延期をした。		○	



## 【内部評価用】

## 令和3年度【進路学習指導】領域（進路指導）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 生徒の進路実現に向けた主体的な活動を支援する ② 教科・小論文・面接・プレゼン等の受験指導を積極的に行う ③ 保護者への進学関係資料の提供と進路指導への理解と協力を得る ④ 職員全員による「入試研究、広報活動・進学情報」等の共有 ⑤ 校外模試のデータ分析と生徒へのフィードバック(面接指導)等を細目に行う ⑥ 総合的な探究の時間係や鈴蘭アカデミーとの連携協力を図る		新型コロナ感染症の拡大(第5波・第6波)に伴い、『大学出前授業(7月末)』のオンライン実施への変更、8月以降の『大学インターンシップ』や『看護体験』及び『ようこそ先輩(1月末)』の中止を迫られ、生徒への進路実現に向けた啓発活動ができず残念でした。諸計画を常時進めてきたキャリア教育担当者や総合的な探究の時間係の先生方の苦勞に感謝しかありません。 しかし、学年ごとの進路指導計画は概ね遂行できました。特に3学年においては、受験指導及び就職指導に向けて、指導方針、内容、進め方等を生徒保護者に丁寧に説明し、左①②③④⑤をTPOに応じて実施できました。			B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	適切な進路指導の実践	進路指導計画に基づき、系統的な進路指導ができたか。	各学年ともに次の学年につながることを意識した進路指導ができました。		○	
2	学力の向上(自立学習支援)	学力向上に向けて学習に対する自立支援ができたか。	高大接続事業の学習ツールを使うなど、学力向上に向けた学習指導ができました。		○	
3	学校推薦型選抜等の組織的指導	職員全体での指導に対する共通理解の下、生徒に丁寧な指導ができたか。	小論文指導、面接指導、プレゼン指導など、全職員一丸となって指導していただいた。	○		
4	保護者との連携	進路説明会や保護者宛通知等により、進路指導への理解と協力を得られたか。	保護者説明会の実施、受験関連等通知の発行などを適時行い、進路指導に関する情報発信を行いました。	○		
5	進路情報の収集と共有	進路指導に係る情報の収集と共有並びに的確な指導ができたか。	多種多様な進路情報を精査し学年、職員、係等に周知して情報の共有を図りました。		○	
6	校外模試の結果分析と進学指導	3年生個人々の模試の結果分析と進路実現に向けた継続的な受験指導ができたか。	模試結果の返却されるごとに進学希望生徒との面談を行い志望校を絞り込んでいく系統的な指導ができました。	○		
7	勤労観・職業観の育成	総合的な探究の時間係と連携ができたか。	コロナ感染症拡大により組織指導が十分にできなかった。			○

【内部評価用】

## 令和3年度【進路学習指導】領域（総合探究）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 年間を通じた適切な指導計画、評価基準の立案と実施。 ② 課題別テーマ別探究活動を通して体験的学習等を取り入れながら、自分の将来像を主体的に模索し、キャリア形成の基礎の定着を図る。 ③ 進路指導係、キャリア教育係との連携と推進を図る。		総合的な探究活動へのご理解をいただき、全職員が分野別に生徒の探究活動をサポートし成果を得ることができました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大（第5波・第6波）に伴いそれをキャリア教育（大学インターンシップ・看護体験・ようこそ先輩など）のステージに結び付けることが物理的にできませんでした。			A	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	各分掌との連携	進路指導係やキャリア教育係と連携を図りながら指導を行えたか。	進路指導係キャリア教育係との計画立案及び実施に向けた情報共有は図ることができました。	○		
2	授業計画の立案と実施	総合探究が意義のあるものとなるような授業計画の立案とその実施を計画的に実施できたか。	キャリア教育係及び総合的な探究の時間係が諸活動計画を適時立案していたが、コロナの影響で物理的に十分に実施できませんでした。		○	
3	評価基準の設定	どのように評価を行うか、その評価基準を適切に設定できたか。	キャリア教育係及び総合的な探究係から評価基準が作成されました。	○		
4	自己理解・社会理解の促進	キャリアガイダンス・講演会・キャリアインターンシップ・「ようこそ先輩」など効果的に取り組めたか。特に、課題別テーマ別探究活動は充実した実践につながったか。	キャリア教育（就業体験・大学インターンシップ・看護体験・ようこそ先輩など）がコロナ感染症拡大に伴い十分に行えなかった。この状況が続く限り、今後生徒の学びを保障する対応が必要であると思います。		○	

【内部評価用】

## 令和3年度 【キャリア教育】領域(キャリア教育)評価個表

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 生徒の、将来の職業選択や自己実現のために必要な人生観を育む探究的な学びの援助を行う。 ② 生徒自身の自己理解を深める援助を行う。 ③ コミュニケーション能力を育むための条件を整える。		新型コロナ感染症の影響が続く中で、生徒の自己理解社会理解の深化や人生観を育む学びの援助のために、校内外の方々のご理解とご協力により、できる範囲内で行事等を実施することができました。今後も、いかなる状況下であっても、生徒が様々なことに理解を深め、勤労観を養うことができるよう、一層の工夫が必要とされます。			B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	自己理解の深化・社会理解の拡大	マインド・マップの活用、各種行事への参加や各種調査(進路希望・スタディサポート・スタディサプリなど)を通じて、生徒の自己理解の深化を援助できたか。	例年通りの各種調査の分析を通して、自己理解を深める援助となりました。今年度から「キャリアパスポートー南高自分史記録ー」の本格導入により、個々の取り組みの記録を蓄積することができました。	○		
2	コミュニケーション能力の伸張	教育活動のあらゆる場面や探究活動において、コミュニケーション能力の伸張が図れるよう、カリキュラムや行事計画について必要な手だてを講じることができたか。	新たな探究活動の仕組みを構築する中で、学年の枠を越えた生徒間の意見交流の場面を設定することができました。今後、日頃の授業等で一層活発に生徒同士が意見を出し合い、コミュニケーション能力の伸張を図る機会が求められます。		○	
3	情報伝達	重点目標実現のために有益な情報(ボランティア・各種体験などの募集)の伝達について工夫をし、伝達の徹底ができたかどうか。	コロナ禍で校外のイベント等が実施困難な状況の中、学年、職員、係等で、可能な限り有益な情報の共有を図りました。生徒の参加数がやや少なめと感じ、この状況下で生徒の参加を促すことが課題となりました。		○	
4	他の機関等との連携強化	外部講師・病院・上級学校・保護者や地域の人々などとの連携を深め、生徒の自己理解や社会理解の援助ができたか。	新型コロナ感染拡大の合間を縫って、県内大学の協力で「大学出前授業」を開催できました。また病院関係者によるオンライン説明会等にも参加できました。	○		

【内部評価用】

## 令和3年度【生徒指導】領域（人権教育係）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)		総合評価		
正しい認識の基盤となる科学的な学習と想像力とが、「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去」することに繋がることを学ぶ。また、「共生」社会を実現するための具体的な行動の仕方について認識を深めさせる。		格差や差別を解消することが、社会全体の幸福度を引き上げることに繋がるという条理を科学的に学んだ上で、不合理不自然なギャップが含まれている自分たち自身の生活を点検しなおす経験ができた。		A		
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	全校人権HRの実施 今年度は、ジェンダーギャップに焦点を当てる。	人権問題についての正しい理解と認識が深まったか。全校人権HRの前後で、必要な段階を踏むことが出来たか。今年度のテーマである、ジェンダーギャップに関して、正しい情報と認識を提供できたか。	世界的にも関心が高まっているジェンダーギャップをテーマとし、基本的な情報を確認した上で、自分たち自身の生徒会活動を振り返ることによって、「そういうものだ」という形で引き継がれてきたものを批判的に見直す経験となった。	○		
2	職員研修の実施	人権教育に携わる指導者として、教材と教案に関する理解を深めることが出来たか。	全校人権HRの実施に至る過程で集団的な検討を積み、担任を中心としてHRで実践されたこと自体が成果だった。		○	

## 【内部評価用】

## 令和3年度【生徒指導】領域（生徒会係）評価個票

今年度の重点目標			領域の評価(成果と課題)	総合評価		
① 計画力・企画力・指導力・調整力を持つ執行部を育成する。 ② 各委員会の活性化を図り、生徒一人一人が委員として自覚を持ち、自主的に行動できるようにする。 ③ 様々な活動を学校内外に発信する。 ④ 今後の自主活動のあり方について探究する。			旧執行部については、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、対面式、クラブ紹介、文化祭等行事を運営することができた。執行部の活躍は見られたが、全校生徒が積極的に関わる活動があまりなかった。新執行部については、積極的な取り組みを始めた委員会もあるが、各委員会の委員の活躍の場を設け、全校生徒が関わることのできる生徒会にしていくために、執行部の育成が必要不可欠である。	B		
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	各行事の企画・運営	設定時期・内容・運営が適切であったか。	クラスマッチ以外の行事は、予定通り実施できた。様々な企画に対して、コロナ対策の必要性、リモートでの対応が求められたが、適切な運営ができた。しかし、先を見通した計画・実行に課題が残る。		○	
2	執行部指導	役員会・執行部会の機能の充実、自主性・創造性の醸成がはかられたか。	旧執行部会では、例年のない文化祭企画の立ち上げ、運営、実行することで連携を深めることができた。また、ICTを活用することで企画の充実度が上がった。新執行部では、旧執行部の技術を引継ぎ、機能する執行部としての育成が必要。		○	
3	委員会活動の活性化	委員長を中心に、多くの委員が活動したか。	執行部中心の活動になってしまっていたが、文化祭等行事では、委員の活躍も見られた。後期は委員を通じて、全校生徒にアンケートを取り、協力を要請する場面があるので、今後も委員が活躍できる生徒会となるようにしていく。		○	
4	委員会活動の連携	委員会間、生徒間、顧問間の連携がはかられたか。	各委員会の活動内容が把握できていない点から、執行部会での各委員会の活動状況の報告をするようになった。また、全校生徒に関わってもらう生徒会にしていくには、委員会間、生徒間、顧問が密に連携を取る必要がある。		○	
5	クラブ活動の活性化	加入・活動人数の増加が図られたか。 充実した活動ができたか。	各クラブ顧問の先生方のご指導のもと、例年通り活動することができた。加入・活動人数は昨年度並みであった。	○		
6	文化祭の質的向上	より高いテーマや目標を掲げて準備できたか。学校内外から評価が得られたか。	コロナ禍での開催に向けて、リモートの活用、密を避けた企画の検討など、様々な課題があったが、執行部内での連携を深め、多くの新企画を立ち上げ、成功させることができた。	○		
7	地域への貢献	ボランティア活動や地域清掃等を通じて地域への貢献がはかられたか。	生徒会執行部の生徒を中心に、定時制生徒会と連携し、2回の地域清掃を行うことができた。今後は生徒有志の参加も期待したい。	○		

【内部評価用】

NO. 11

## 令和3年度【生徒指導】領域(生徒指導係)評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 学校内外に於ける安全を確保する。 ② 生徒の自律的生活習慣の確立をサポートする。 ③ 生徒の自治的な活動を支援する。 ④ 家庭及び地域との連携をはかり、学校内外での事例に対し速やかに対応できる体制を整える。 ⑤ 生徒集団の意識を高めるための投げかけ・働きかけを意識的に行う。		交通事故が増加した点は課題として残るが、校内の安全は高いレベルで確保できている。本校の穏やかな校風もあり、生徒全体が安心して生活できる環境は整っている。自分たちの安全を主体的に自分達で守るという意識を持たせたいと考えており、自主活動の場面等でも繰り返し投げかけてきた。生徒集団の意識は高まってきていると感じられる。			A	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	風紀指導	計画通り(年3回)風紀指導を実施したか。	計画通り実施できた。違反はほとんどなく、定着している。	○		
2	交通安全指導	春・秋計2回の交通安全指導、自転車の安全運転、原付安全講習会を実施し、交通安全に対する意識を高めることができたか。	春秋の交通安全指導と原付安全講習会は予定通り実施できた。全校交通安全教室はコロナ禍の影響で、LHR形式の実施となったが、通学路に潜んでいる危険を再確認し、安全意識を高めることができた。	○		
3	生徒自ら安全を守る主体性・安全意識を高める	交通安全に限らず、身の回りにおける危険を自ら回避する意識をことあるごとに喚起する。	自ら安全を守ることは、交通安全委員会や風紀委員会など生徒会活動の場面でも投げかけているし、事あるごとに触れているので、意識は高まっていると感じる。		○	
4	生徒集団の意識を高めるための投げかけ	生徒指導通信等を活用し、様々な問題を生徒に発信をし、各自の問題として考え、解決できるように努めたか。 生徒会委員会と連携が取れたか。	生活指導通信は、生徒集団全体に対して訴えかけたいテーマがある時に不定期に発行しているが、論理的にまとめた形で投げかけることができた。生徒会との連携はこれまでの積み重ねもあり、意欲的な活動ができたと感じる。	○		
5	指導の公明性	問題行動等、生徒への指導において、その根拠・手続きなどが十分に生徒・保護者に説明されているか。	具体的な指導に際しては、全体に対しても個人に対しても、基本的な考え方と指導の内容について説明してきた。	○		
6	職員連携体制の確保	目的と情報を共有しつつ、有機的な連携がとれる全職員の協力体制と意識の統一を図ることができたか。	全校を対象とした指導では、職員全体で分担して指導を行った。個別の指導に関しても、学年集団と連携して指導目標の達成を目指して取り組めた。		○	
7	保健係、生徒支援委員会等の連携	生徒の心の問題やいじめの根絶等について、保健係や生徒支援委員会等校内の諸機関と十分に連携がはかれたか。	保健係・生徒支援委員会等と具体的に連携しなければならない事案はなかったが、提供されている情報等は踏まえながら指導を行ってきた。		○	

【内部評価用】

NO. 12

## 令和3年度【特別支援】領域評価個票

今年度の重点目標			領域の評価(成果と課題)		総合評価	
①特別な支援を必要とする生徒の支援計画、支援体制の充実を図る。 ②職員向けに発達障がい等の研修会を企画し、障がいについての知識理解を深める。			①特別な支援を必要とする生徒の支援では、定例の保健係会での情報共有をし、他の委員会との連携、関係職員への聞き取り調査から実態を把握し支援にあたった。今年度も、保護者向け連絡シートと学校生活アンケートアセスを実施し、生徒の実態把握ができ支援につなげることができた。 ②職員向け研修会は、忙しい中多くの先生方に参加いただき、生徒理解とチーム支援について理解知識を深めることができた。		B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	校内の特別支援教育体制の充実。支援体制についての研究及び情報収集	高等学校特別支援教育研究会で学んだ内容を基に、支援計画、支援体制について具現化することができたか。	学校生活アンケート（アセス）を実施し、学校適応感尺度を年間の支援に生かすことができた。 SCによるカウンセリングを利用することでも支援につなげることができた。		○	
2	実態把握のための情報収集、職員間での連絡調整、支援会議の連絡調整・企画・運営	中学校から情報収集、保護者からの連絡シートによる情報収集、クラス担任、教科担任をはじめ職員からの聞き取り調査による実態把握を行う。定期的に生徒支援委員会を開き、生徒の情報を共有し、生徒支援（相談）について積極的に対策を講じ、解決に向けた取り組みができたか。	今年度も入学予定者の保護者に向けた連絡シートより実態把握を行うことができた。 毎週の保健係会の中で、学年ごとの生徒状況の情報交換を行うことで情報の共有ができた。 休学、転学者が多かったが、今後生徒、担任をサポートする支援体制をさらに整えていく必要がある。		○	
3	発達障がいの研修会の計画	職員が参加しやすい研修会が計画できたか。また、研修会を行うことによって職員の知識、理解を深めることができたか。	特別支援教育職員研修会を計画実施することができた。今後も年間行事予定に組み込み、職員の知識理解を深めるよう計画していく。		○	

【内部評価用】

NO 13

## 令和3年度【保健・環境】領域（整美係）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 校舎内外の清掃・美化 ② 委員会活動の活性化		①校舎の外装についても生徒会執行部と協力し、清掃・美化に取り組んだ。 ②コロナの影響もあり、ゴミの分別にも力をいれた。			A	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	校舎内外の清掃・美化 ・清掃分担は監督しやすい場所にするよう配慮し、通年、清掃が日常活動として定着できるようにする。 ・用具庫が機能的に使用できる状態を維持し、必要なものは購入する。	清掃は日常活動として定着しているか。  用具庫を機能的に使用できるように維持しているか。	自分たちのクラスの分担の清掃用具の点検を行い、足りないものなど調査した。 来年度以降は、定期的に用具室の点検を行い、必要なもののチェックをしたい。 新しい係に引き継ぎ、生徒全員で2回に分けて中庭の落ち葉や枯れ草などを集め、中庭をきれいにする事ができた。	○		
2	委員会活動の活性化 ・日常清掃を最も重視し、自分たちのクラスの分担の用具、清掃状況を点検する。また、ゴミの分別を徹底する。 ・生徒会執行部とともに、校外清掃を実施する。	用具の点検整備、モップ洗い、ゴミステーション当番などしっかりと活動しているか。  計画に従って校外清掃が実施できたか。	日常の清掃活動もしっかりと行う事が出来た。今年度、新しいモップで校舎内・トイレなどきれいに清掃できた。 地域清掃では、生徒会執行部や整美委員などで計画的に行う事が出来た。 来年度以降もいろいろな場所の清掃に励んでいきたい。	○		



【内部評価用】

NO 14

## 令和3年度【環境・保健】領域（保健係）評価個票

今年度の重点目標			領域の評価(成果と課題)	総合評価		
① 生徒が心身ともに健康な身体で、安心安全な学校生活を送ることができるよう支援する。 ② 生徒支援委員会や特別支援教育コーディネーター等と連携をはかり、チームで細やかに健康相談が実施できるようにする。			コロナ禍で学校運営がとまらないよう日々の感染予防対策に力を入れ、健康観察の徹底等を行い、安心安全な学校生活が送れるように、心がけた。また、情報提供や注意喚起等しながら活動ができた。 各委員会と連絡・連携をとりながら対応することができた。今後も、不登校生徒や担任に寄り添い、具体的な支援や対応がチームで、できるようにしていきたい。	A		
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	基本的な生活習慣の指導	睡眠、食事、服装、薬に頼らないなど、生活習慣の改善がみられたか。	学校生活のリズムや日常を取り戻せるように日々の言葉かけや丁寧な対応を心掛けた。	○		
2	健康・安全意識の向上	定期健康診断を全員が受診したか。 必要に応じて専門医の受診を受けたか。 誰でも安心して利用できる保健室であったか。 生徒の観察を通じて、その健康状態を正しく把握できたか。 感染症の予防に努め感染拡大は防げたか。 職員・生徒への講習会を実施できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年もコロナ禍で健康診断等、感染防止に努めながら終わらせることができた。未受診、専門医受診の必要な生徒には早めに通知を出すことができています。</li> <li>今後増えていくであろう、不登校生徒や保健室登校者への支援や対応策を学校全体として考えていく必要がある。</li> <li>感染症対策として、オクレンジャーの徹底、日々のアルコール消毒、保健委員会によるお便り、お昼の放送での呼びかけ等を行い感染予防に努めることができた。</li> </ul>	○		
3	生徒支援委員会、いじめ防止対策委員会等との連携、充実	保健室や生徒支援委員会・特別支援教育支援コーディネーター等と情報の共有をし、細やかに対応することができたか。 委員会と連携しながらチームで対応することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週（木）に係会を開催し、各学年会の生徒状況や保健室の様子など、情報の共有をし、複数の目で生徒の状況を確認することができた。</li> <li>他の委員会と協力しながら「学校生活に関するアンケート」を実施し、分担しながら個別の対応ができた。</li> </ul>		○	

【内部評価用】

NO. 15

## 令和3年度【渉外】領域（PTA・厚生）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
○会員が参加しやすい活動を計画し実施する。		コロナ禍により、計画したほとんどの事業を実施することができなかった。いずれコロナが収束した際に例年並みの活動を実施することができるように取り組んでいきたい。			B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	PTA総会	総会・学年PTA・学級PTAへの参加態勢が十分であったか。	総会の実施は見送ったが、議案書を全戸配布して議案の承認に代えた。	○		
2	鈴蘭祭PTAバザー・作品展	バザー・作品展を通じて、会員が鈴蘭祭へ積極的に参加することができたか。	文化祭が中止となり参加することができなかった。			○
3	大学見学（PTA 研修旅行）	会員の進路指導への理解を深めることができたか。	コロナの感染拡大を受けて中止とした。			○
4	ソフトバレーボール大会	クラス・学年で参加を呼びかけ、多くの会員相互の親睦をはかることができたか。	コロナ禍で実施は難しいとの判断から中止とした。			○
5	PTA会報	活動状況を会員に伝えることができたか。	159号発行（R3.7.21）	○		
6	校外巡視	生徒の実態を保護者にも理解してもらえたか。	文化祭が中止となり実施機会なし。			○
7	職員厚生	職員相互の親睦を深めることができたか。	コロナ禍で実施を見送らざるを得なかった。			○

【内部評価用】

NO 16

## 令和3年度【渉外】領域（同窓会）評価個票

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
① 総会、理事会、等の会合が問題なく進められるように、同窓会と職員の連携を図る。特に110周年記念事業を円滑に進める。 ② 同窓会からの配布物、情報等が教員団に速やかに伝わるように配慮する。		① コロナ感染拡大の影響により会合が減ってしまったが、必要な協力はできた。 ② 配布物は滞りなく配布することができ、必要な情報伝達もできた。			B	
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	活動計画の作成	同窓会、生徒、職員が活躍できる計画が立てられたか。	コロナ感染拡大の影響により、なかなか計画が進められなかった。		○	
2	理事会・支部長会の準備、補助	事前の計画、準備等において理事会・支部会等の運営の積極的に関われたか。	会合が少なくなりましたが、準備等はしっかり参加することができた。		○	
3	総会の準備・運営。 110周年記念事業の準備。	会員にしっかりとした情報伝達の間としての総会を提供できたか。記念事業を円滑に進められたか。	コロナ感染拡大の影響により、総会は中止になり、周年事業も延期になってしまったが、記念史作成には関わることができ、無事完成した。		○	
4	会報作成への取り組み	校内の様子を速やかにとりまとめて、原稿を会報編集者に提供できたか。	係の皆様の協力により、会報の取りまとめが速やかにできた。		○	
5	「発展させる会」との連携	生徒と同窓会員が積極的に参加し、意見交換ができる場を提供できたか。	発展させる会には生徒や先生方も大勢参加していただき、充実した意見交換の場を作ることができた。		○	

学校番号	42	学校名	野沢南高等学校全日制普通科
------	----	-----	---------------

### 令和3年度 長野県野沢南高等学校（全日制） 「学校関係者評価報告書」

#### ★ 評価について

- 学校評議員の皆様は「令和2年度学校評価」などの資料を参考に、今年度の学校の活動について、評価をいただきました。
- 【学校全体の活動への評価】については、「今年度の重点目標」の項目毎にどれだけ成果が上がったと思われるかを、A（成果あり）・B（普通）・C（改善が望まれる）の3段階で評価していただきました。
- 【部署ごとの評価】については、各部署の自己評価を参考に、その部署全体でどれだけ成果が上がったと思われるかを、A（成果あり）・B（普通）・C（改善が望まれる）の3段階で評価していただきました。

#### 【学校全体の活動への評価】

今年度の重点目標	評 価 (%)		
	A	B	C
1 生徒の学習環境の改善に努めるとともに、生徒自らも環境整備に取り組む意識を育てる。	58	42	0
2 HPの定期的な更新や「野沢南だより」等の発行を通じて、地域への広報活動を充実させる。	72	28	0
3 生徒の学習意欲を高めるための授業研究・改善を心がけるとともに、さらにICT活用を推進し学力向上をはかる。	72	28	0
4 人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学校づくりを進める。	86	14	0
<p>〈自由記述欄〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他校の様子を聞くと、どこも、2学年の評価が低く出ている傾向があります。2年生は、入学時に休校が続いたり、行事がことごとく中止や規模縮小になったりする学年で、進学しても満足感があまり得られないことが原因の一つだと思います。しかし野沢南高校は、2年生が大きく落ち込むことなく、1・3年生と同じ傾向を示しています。これは、コロナ禍でありながら、教育活動が全校においてしっかりとまわっていたことを示していると思います。</li> <li>○ 長期にわたりコロナ禍が続き、学校運営、生活が思い通りにいきませんが、日々の対応、本当にありがとうございます。義務教育ではないものの、生徒の今後の人生においてとても大切な3年間であることは間違いありません。もうしばらくは、コロナと付き合う学校生活を見据え、各目標や学校生活を楽しく過ごせるよう、これからもよろしくをお願いします。</li> <li>○ 先生方へコロナ禍における学習環境の改善、ICT活用での学習効果向上等に良く務めてくださっている。頭が下がります。一方、生徒自ら・・・という点がありません。</li> <li>○ 「統合新校」のこともあるので、地域や中学校への広報活動を今後もお願いしたいと思います。コロナ感染状況が好転したら、中学校で直接、高校の現状や将来像について継続的にPRしてほしい。</li> <li>○ 昨年に引き続き、コロナによる制限がある中で、教職員と生徒で工夫しながらの学校運営だったかと思います。外部と行き来しての活動が少なくなってしまうことは非常に残念ですが、オンラインを活用しながら「今できる形」で行えたことは、今後生きてくるのではないのでしょうか。評議員会も中止になってしまったので、先生方とお話することができず、紙面やHPからの情報になってしまい、評価も難しいところです。HPを更新していただくとより様子がわかるので、また、学校の様子をアップしていただけるとありがたいです。</li> </ul>			

## 【部署毎の評価】

	部署名	評価			自由記述欄
		A	B	C	
1	1学年	28	57	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活1年目に、時間や挨拶のほか、ルールを意識することが大切であると思う。</li> <li>○ 学習への取り組み姿勢はどうだったのでしょうか。集団での高め合いは難しかったのではないかと思います。</li> </ul>
2	2学年	43	57	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中だるみしやすい学年ではあるが、自己が目標や責任を一番感じる学年だと思う。</li> <li>○ 来年度の進路を見据えた学習等が中止になってしまい残念だった。</li> <li>○ 先生方のご苦労は、必ず生徒に響くと思う。</li> </ul>
3	3学年	85	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍でも、様々な活動ができたようで良かったです。</li> <li>○ 3年間の高校生活は、生徒の血や肉となっているので大切にしてほしい。</li> </ul>
4	教務係	85	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オンラインの良さ、対面の良さは同じようで、大きく違うと思う。</li> <li>○ 行事の見直しや、日々の日課の組み立ても大変だったと思いますが、状況に合わせて活動できたと思います。</li> </ul>
5	図書・視聴覚係	85	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからもたくさん本を読んでほしい。</li> <li>○ 図書館の利用が多いことはありがたい。今後も活用の機会を増やしてほしい。</li> </ul>
6	進路指導係	43	43	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進路決定者が総数の48%は低いのでは。</li> <li>○ 予定通りいかない部分もあり大変だったと思います。お疲れ様でした。</li> <li>○ 校内でできる指導は大変良くやってくさっている。個別指導もされていてありがたい。外部との連携は時間がただけに十分できなかったと思う。</li> </ul>
7	総合学習係	57	43	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先生方が学び、工夫されるので、生徒の取組は良くなってきていると思う。</li> </ul>
8	キャリア教育係	43	57	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕組み作りが大切である。</li> <li>○ 学年を越えた意見交換の機会は非常に良い取り組みだと思います。</li> </ul>
9	人権教育係	85	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、取り組みの幅が広がったので大変であると思う。</li> <li>○ かつてのステレオタイプの考え方ではなく、「今」を客観的に考える機会があるとよいと思う。</li> </ul>

10	生徒会係	57	43	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 執行部はとても大変ですが、学校全体を巻き込めるよう頑張ってもらいたい。</li> <li>○ 活動は思うようにできなかったと思うが、A評定があるのはありがたいと思う。</li> </ul>
11	生徒指導係	85	0	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車事故への対応が急務であると思う。</li> <li>○ 安心安全な学校生活が送れたと思います。</li> <li>○ 生徒自らの姿勢づくりは益々大変になっていると思う。先生方の指導がとてもありがたい。</li> </ul>
12	特別支援教育係	57	43	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まずは、教職員の知識と理解が必要です。支援をお願いします。</li> <li>○ 特別支援を必要とする生徒が増えてきていると思う。ご指導ありがとうございます。</li> </ul>
13	整美係	85	0	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常の清掃は心の浄化に繋がります。引き続き励んでほしいです。</li> <li>○ 中庭の落ち場が気になっています。</li> </ul>
14	保健係	85	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どの学校の同じような傾向であると思うが、利用者は多いです。部屋の在り方を検討してほしいです。</li> </ul>
15	P T A ・ 厚生係	28	72	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの行事が中止となり残念でした。</li> </ul>
16	同窓会係	43	57	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「発展させる会」は素晴らしかった。「同窓会報」など、積極的に協力して下さい、感謝しております。</li> </ul>